

(一社) 四日市観光協会事務局次長

落合純二さん



四日市を訪れる人へ本市の魅力伝える、四日市観光協会の落合純二さんにお話を伺いました。

四日市を全国へ

観光協会は、そのまちの観光情報を提供する組織というイメージですが、それだけではなく、さまざまな人と連携するのも特徴の一つです。

例えば、船で四日市港を周遊し、工場夜景を楽しめるコンビナート夜景クルーズは、多くの人の協力を得て、実現された四日市観光の柱の一つです。工場夜景には、個人的にも思い入れがあり、クルーズのボランティアガイドをしています。また、商工会議所や市とともに、市内での映画などの撮影を支援するフィルムコミッション (FC) にも携わっています。FCを通して、

四日市のPR、地元愛の醸成、そして地域経済への還元ができればと考えています。

撮影イメージに沿うロケ地を案内できるよう、情報収集と更新が欠かせなかったり、守秘義務のため、撮影内容を協力者にも伝えられなかったりと苦労は絶えませんが、映像を通して四日市が全国に発信されるとやっぱりうれしいものです。特に、四日市自体を話題・題材にした映画が公開されたときは格別です。

四日市らしい観光を

必ずしも四日市を有名観光地にしたいわけではなく、四日市らしい観光の姿を見出したいと考えています。

例えば、ビジネス関係の来訪者は、年間で本市の人口を超える人々が、市内に宿泊しています。この人々に四日市のことを知ってもらうのも「四日市らしい観光」だと考えています。

四日市を愛する人が増えるように

以前、ビジネス客向けに散策マップを作ったら、市民からも欲しいという声がありました。市民にも四日市の魅力を伝える必要があります。

私は幼い頃に船に乗り海から港と四日市を見て、港街・四日市を実感しました。実体験は記憶に残ります。まずは、四日市の子もたちに魅力を体感してもらい、四日市を好きになってもらいたい。市民にも喜んでもらえるような、四日市らしい観光の姿を追い求めたいです。

いろいろなことに挑戦し、四日市の魅力を市内外に発信し、四日市好きを一人でも増やしていきたいと思います。



平成29年全国工場夜景サミットin四日市



雪の日の映画撮影立ち合い



ビルの上からロケ地の下調べ

3月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」(3月12日、26日 8:54/14:54) でも紹介します。